

聖書の言葉

平和を実現する人たちは
幸いである。
その人たちは
神の子と呼ばれる。
マタイによる福音書5章9節

シャロームタイムズ

2015年8月23日（日）発行

宗教法入

野毛山キリストの教会

〒220-0032 横浜市西区老松町30番地

紙芝居 平和ってどんなこと？

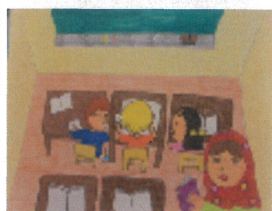
平和のイベントのためにみんなで作った紙芝居です



平和って戦争をしないこと・・・
世界の194の国のうち戦争や紛争をしている国があります。どうして戦争や紛争が起こるのでしょうか。とても悲しいことです。戦争や紛争を繰り返していると、爆弾を落としたり、家や街が破壊されたり、人の命を奪ったりします。大事な命を奪って、奪われて…本当に悲しいことです。



平和って生きていくのに必要なものがちゃんとあること。
住む家があって、着る物があって、飲む水があつて、おなかがすいたら御飯を食べることができるところ。今も世界で5秒に一人が食べ物や水がなくて死んでいっています。何も不自由なことがなくて、生活できているって、とても幸せなことです。



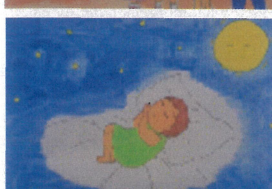
平和って学校へ行けて、勉強ができること。
この間、ノーベル平和賞をもらったマララさんは、「女の子だからってだけで学校へいけないのはおかしい」とて勇敢に訴え、それでも撃たれて大変なことがありました。けれども、負けず立ち向かいました。マララさんは、17歳、学校へ行けて、勉強することは時々嫌なこともあるかもしれないけれども、学校へ行けること、勉強できることは幸せなことです。



平和ってみんなの前で話ができたり、大好きな歌を歌えたりすること。
国によっては自分の考えを自由に話したり、好きな歌を歌えないこともあるのです。



平和って家族がいて、友だちがいて、好きなことができること。
友だちがいて一緒に遊ぶことはとても幸せなことです。



平和って何の心配もなく、やわらかい布団の上で朝まで眠れること。
もし、戦争や紛争があったら、いつ爆弾が落ちてくるかわからないから、怖くてゆっくり眠ることもできません。布団に寝ることができるということは幸せなことです。それから、戦争だけでなく、災害にあつて家もなく避難している人は自分の家でゆっくりすることもできないです。みんなが安心して生活ができるように、私たちはできることをしていきたいと思ひます。



平和って、友だちがいて、なかよくできること。
時々、けんかをするこゝもあるけど、悪いことをしてしまったら謝ること。みんなひとりひとり違う顔、みんなひとりひとり違う。みんなが同じだなんてありません。自分と違う人がいて当たり前。相手のことを知って違いを認めるって大切。嫌なことは嫌だってひとりでも意見が言えて、いけないことはいけないって言うことも大切。お互いに意見が言えることは素晴らしいこと。もしかしら、そこから、新しいことや面白いことを発見するかもしれません。



僕も私も友だちも、みんなみんな大切なひとりひとり。
みんな同じように生きている仲間です。みんな、神さまに愛されている存在です。



平和ってあたたかくて優しく力強いもの。
大きなことはできませんが、みんなの心の中の平和を大切にしていきたい。心の中の平和って目には見えませんが心の中に平和の木を咲かせていきましょう。イエスさまは悲しんでいる人と一緒にいてくださいます。喜び人と共に喜び、悲しんでいる人と共に悲しんでくださるイエスさまを知り、私たちがイエスさまに倣っていきましょう。

ぞうれっしゃがやってきた

太平洋戦争末期に、軍の命令で全国の動物園の猛獣が殺されました。しかし、名古屋の東山動物園では「ぞうれっしゃなら私を殺してからにしてくれ」と銃剣の前に立ちました。園長さんたちの必死の努力でぞうれっしゃが生き残ったのです。戦後、それを知った子どもたちの「ぞうれっしゃが見たい」という願いがおとなたちを動かし、全国から名古屋に向けて「ぞうれっしゃ列車」が走り出しました。1949年1年間で3万人の子どもたちがぞうれっしゃを見ることができたそうです。この事実が絵本になり、合唱曲ができました。戦争を知る人が年々少なくなっていく時代にあって過去の過ちを二度と繰り返さないように、何とかして平和の尊さを伝えたいと考えていた時に出会ったのがこの「ぞうれっしゃがやってきた」でした。今から20年前のことです。戦後復興の時代も子どもたちがおとなたちにたくさん力をくれていたのでしょう。しかしながら、一度戦争や紛争が起こると、真先に犠牲になるのは子どもたちです。子どもたちの命を守るため、日本・世界の未来を担う子どもたちが安心して生きていくことができる社会となるように、今ある私たちが過去の戦争の過ちを風化させずに伝え続け、平和の尊さ、命の重さを叫ぶために、ご一緒にぞうれっしゃを歌い続けましょう…



世界みんなが仲良くなるように
平和な世界が来るように
ぞうれっしゃよ はしれ



♪ぞうれっしゃよ、いそげ、闇をさいて走れ
♪ぞうれっしゃよ、いそげ、空をかけて走れ

広島（ヒロシマ）

1945年（昭和20年）8月6日午前8時15分。
原子爆弾リトルボーイは、第33代アメリカ合衆国大統領ハリー・S・トルーマンの原子爆弾投下の大統領命令を受けたB-29（エノラ・ゲイ）によって投下されました。

この1年に亡くなった方 5359人
計297684人

長崎（ナガサキ）

広島の3日後の1945年8月9日午前11時2分、
B-29（ボックスカー）が長崎市に原子爆弾ファットマンを投下しました。

この1年に亡くなった方 3373人
計168767人

日本国憲法 第9条（戦争の放棄、軍備・交戦権の否認）

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

What Would Jesus Do?

「イエスさまならどうするか」を考え、
平和の使者として
過ごしていきましょう。



キリストの平和が私たちの心の
すみずみまでゆきわたりますように